

3月末までに市長が候補地を選定することとなります。

3 災害支援物資拠点施設整備計画について

現在、旧消防庁舎を物資の集積・配送を可能とする機能を兼ね備えた災害支援物資拠点施設に改修しています。平成31年2月に完成予定で、3月中旬からシルバー人材センターの引越しが始まります。来年度、備品購入を行い10月に供用を開始する予定です。

4 浜岡保育園民営化事業について

浜岡保育園は、園舎の老朽化や周囲を住宅に囲まれていることから、現保育園の東側（市消防署北側）に建替えを計画しています。新保育園の定員は130人で、延床面積は約1,672㎡です。費用は、市負担と国庫補助及び新保育園を運営する「福やまもも福祉会」が1割の負担をして建設することになりました。

その後の委員会討議では次の意見書提出が決定しました。

・第2次御前崎市総合計画実施計画におけるエネルギー構造高度



新保育園の建設予定位置図

化、転換理解促進事業費補助金については、一定期間の制度であるので情報収集を図り事業が完了できる対応を強く求める。

・災害支援物資拠点施設整備計画における運用開始については、東海、南海地震の緊急度から勘案して、運用開始時期の前倒しを強く求める。

・保育園民営化事業については、北側の南北道路に歩道を設置するよう強く求める。また、消防署が近在するため、防音対策に万全を期すよう求める。

議員研修

第11回全国原子力発電所立地議会サミット

研修日 平成30年10月30日（火）
31日（水）

会場 品川プリンスホテル
（東京都港区）

【メインテーマ】

「これからの日本のエネルギー政策と原子力のあり方」原子力発電と立地自治体の方向性」

【分科会】

- ・第1分科会 「原子力政策と地域振興」
- ・第2分科会 「低炭素社会と原子力のあり方」
- ・第3分科会 「原子力発電所の再稼働と原子力防災体制」
- ・第4分科会 「核燃料サイクルと放射性廃棄物の中間貯蔵・最終処分」
- ・第5分科会 「福島原発事故被災地域の再生と各立地地域の廃炉計画に対する地域振興」

全国の原子力発電所立地自治体の議員など約440名が参加しました。サミットでは、資源エネルギー庁の職員から「エネルギー基



分科会



第11回全国原子力発電所立地議会サミット開会式

本計画と原子力発電」について基調講演を聞きました。その後、5つの分科会に分かれ議論し、翌日の全体会で、各分科会からの報告があり、国からコメントが披露されました。その後、閉会式でサミット宣言が採択されました。